

社会的検査の実施状況について

1 主旨

現段階の社会的検査の実施状況について、次のとおり報告する。今後も実施状況の整理・分析を継続し、適宜、議会に報告する。

2 社会的検査の実施状況等について（12月14日時点）

（1）総括

	随時検査	定期検査	合計
実施設数	26施設	91施設	117施設
延べ施設数	49施設	155施設	204施設
検査数	933件	2,686件	3,619件
陽性者数（陽性率）	35件（3.75%）	18件（0.67%）	53件（1.46%）
陽性把握実施設数	3施設	7施設	10施設
施設内濃厚接触者数	0人	0人	0人

（2）週ごとの実施状況

各週	延べ施設数（か所）		検査数（人）		陽性者数（人）	
	随時検査	定期検査	随時検査	定期検査	随時検査	定期検査
10/ 2～10/ 4	3	0	109	0	1	0
10/ 5～10/11	3	8	8	151	0	1
10/12～10/18	2	1	2	1	0	0
10/19～10/25	1	18	1	151	0	0
10/26～11/ 1	5	4	23	130	0	0
11/ 2～11/ 8	3	4	4	98	0	0
11/ 9～11/15	2	10	54	239	0	12
11/16～11/22	5	16	172	393	5	1
11/23～11/29	5	17	167	219	0	1
11/30～12/ 6	8	27	274	558	17	2
12/ 7～12/13	7	44	66	659	6	1
12/14	5	6	53	87	6	0
合計	49	155	933	2,686	35	18
		204		3,619		53

(3) 受検状況

		区内施設		希望施設		希望割合	受検施設		受検割合
		上段 下段	か所数 人数	上段 下段	か所数 人数	(/)	上段 下段	か所数 人数	(/)
介護事業所	特別養護老人ホーム等		54 か所		24 か所	44.4%		14 か所	58.3%
			約 1,200 人		703 人	58.6%		556 人	79.1%
	介護老人保健施設		10 か所		2 か所	20.0%		0 か所	0.0%
			約 400 人		83 人	20.8%		0 人	0.0%
	有料老人ホーム等		144 か所		70 か所	48.6%		36 か所	51.4%
			約 3,600 人		2,917 人	81.0%		1,713 人	58.7%
	認知症高齢者グループホーム		44 か所		21 か所	47.7%		8 か所	38.1%
			約 1,000 人		371 人	37.1%		148 人	39.9%
	通所介護等		265 か所		91 か所	34.3%		21 か所	23.1%
			約 3,900 人		1,047 人	26.8%		273 人	26.1%
	訪問介護等		359 か所		130 か所	36.2%		13 か所	10.0%
			約 8,000 人		2,236 人	28.0%		185 人	8.3%
	小規模多機能介護等		14 か所		6 か所	42.9%		2 か所	33.3%
			約 200 人		90 人	45.0%		17 人	18.9%
居宅介護支援等		269 か所		102 か所	37.9%		12 か所	11.8%	
		約 900 人		425 人	47.2%		68 人	16.0%	
その他(高齢施設)		42 か所		9 か所	21.4%		1 か所	11.1%	
		約 200 人		40 人	20.0%		10 人	25.0%	
障害者関連施設		299 か所					6 か所		
		約 3,000 人					88 人		
保育園、幼稚園・児童養護施設等							4 か所		
							36 人		
小中学校・新 BOP							3 か所		
							65 人		
総計		1,500 か所		455 か所	30.3%		120 か所	26.4%	
		約 23,000 人		7,912 人	34.4%		3,159 人	39.9%	

は希望調査において、社会的検査を希望すると回答があった施設及び当該施設の職員数(12/14 現在)

は社会的検査を受検した施設及び当該施設を受検した職員数(利用者を除く)(12/14 現在)

< 分析等 >

- 感染防止の取組みをより徹底したうえで受検する意向が強く、受検を希望する施設(受検した施設を含む)の割合は、全体の3割となっている。
- 特別養護老人ホームについては、比較的規模の大きい施設において、受検を希望する施設(受検した施設を含む)の割合が高いと考えられる。
- 介護老人保健施設については、医療機関が経営母体である施設が多いため、社会的検査によらずPCR検査を実施できる体制があること等により、希望する施設の割合が低いと考えられる。
- 有料老人ホームについては、区内・区外に複数施設を運営する企業の場合、陽性者が発生した場合に事業継続のための体制整備も可能であるため、希望する施設の割合が

高いと考えられる。

- 認知症高齢者グループホームについては、施設の特性から入所者自身による感染予防が難しく、陽性者が発生した場合のクラスター化のリスクが高いため、希望する施設の割合が高いと考えられる。
- 訪問介護や居宅介護支援等の訪問・通所事業所については、複数の事業所を掛け持ちしている職員が比較的多いため、職員の勤務ローテーションの日程調整が難しいことから、希望する施設数に比べて、受検した施設数の割合が低くなっている。
また、これらの施設については、狭小の事務所であることが多く採取スペースを確保することが難しいことや、事務所に出勤せずに利用者の自宅を直接訪問することが多く、指定された日のみの検体採取では日程調整が難しいため、11月下旬に確保した検査会場を活用した手法等により、受検施設を増やしていく必要がある。
- 引き続き、定期検査の実施施設を増やすため、定期検査の効果について周知を行うとともに、各施設に対して施設所管部と委託業者のコールセンターより、それぞれ案内を行い、受検を促していく。

3 社会的検査での陽性の発生状況及び対応（令和2年12月14日現在）

社会的検査では、職員等の陽性の発生事例がこれまでに10件発生している。なお、発生状況及び対応については、以下のとおり。

施設	検査数 上段：発生日以前 下段：発生日以後	発生日 (陽性確認日)	対応
特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設) 短期入所生活介護含む。	職員48人 利用者53人 計101人 職員1人陽性判明 職員3人 全員陰性	10月2日	・職員、入所者を対象とした随時検査を実施し、 <u>職員1人の陽性判明</u> 。 ・調査の結果、施設内の他の職員や利用者の中に 濃厚接触者の存在は認められなかった 。
通所介護	職員20人 職員1人陽性判明	10月7日	・定期検査を実施し、 <u>職員1人の陽性判明</u> 。 ・調査の結果、施設内の他の職員や利用者の中に 濃厚接触者の存在は認められなかった 。
有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)	職員59人 職員2人陽性判明 利用者52人 全員陰性	11月9日	・定期検査を実施し、 <u>職員2人の陽性判明</u> 。 ・調査の結果、施設内の他の職員や利用者の中に 濃厚接触者の存在は認められなかった 。 ・その後、利用者の随時検査を実施し、陽性者の発生は認められなかった。
特別養護老人ホーム(通所介護施設、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所併設) 短期入所生活介護含む。	職員81人 職員10人陽性判明 職員67人 利用者97人 計164人 職員3人、利用者2人 計5人陽性判明	11月13日 ~ 11月17日	・11月13日に定期検査を実施し、 <u>職員3人の陽性判明</u> 。 ・11月14日に定期検査を実施し、 <u>職員7人の陽性判明</u> 。 ・11月16日、未受検の職員の随時検査を実施し、 <u>職員3人の陽性判明</u> 。 ・11月17日に利用者(特養入所者)に対する随時検査を実施し、 <u>利用者2人の陽性判明</u> 。 陽性者合計 職員13人・利用者2人 計15人
認知症高齢者グループホーム	職員26人 職員1人陽性判明 職員7人 利用者18人 計25人 全員陰性	11月20日	・定期検査を実施し、 <u>職員1人の陽性判明</u> 。 ・調査の結果、施設内の他の職員や利用者の中に 濃厚接触者の存在は認められなかった 。 ・その後、未受検の職員、利用者に対する随時検査を実施し、陽性者の発生は認められなかった。

施設	検査数 上段：発生日以前 下段：発生日以後	発生日 (陽性確認日)	対応
特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設) 短期入所生活介護含む。	職員 4 4 人 職員 1 人陽性判明 ----- 職員 2 6 人 利用者 1 1 4 人 計 1 4 0 人 全員陰性	11 月 25 日	<ul style="list-style-type: none"> 定期検査を実施し、職員 1 人の陽性判明。 調査の結果、施設内の他の職員や利用者の中に濃厚接触者の存在は認められなかった。 その後、未受検の職員、利用者に対する随時検査を実施し、陽性者の発生は認められなかった。
特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設) 短期入所生活介護含む。	職員 4 9 人 職員 2 人陽性判明 ----- 職員 1 9 人 利用者 3 1 人 計 5 0 人 全員陰性	12 月 3 日	<ul style="list-style-type: none"> 定期検査を実施し、職員 2 人の陽性判明。 調査の結果、施設内の他の職員や利用者の中に濃厚接触者の存在は認められなかった。 その後、見受検の職員、利用者に対する随時検査を実施し、陽性者の発生は認められなかった。
有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)	職員 5 4 人 利用者 7 7 人 計 1 3 1 人 職員 2 人、 利用者 1 5 人 計 1 7 人陽性判明 ----- 職員 6 人 利用者 2 2 人 計 2 8 人 職員 2 人、 利用者 5 人 計 7 人陽性判明 従来型検査により、職員 4 人、利用者 1 1 人の計 1 5 人陽性判明	12 月 4 日 ~ 12 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> 11 月 28 日に職員の発熱等の症状に伴い、保健所による従来型検査を実施し、職員 1 人の陽性判明。 保健所による調査の結果、濃厚接触者の範囲が広範に及ぶ恐れがあることから、社会的検査(随時検査)の枠組みを活用して、職員及び利用者全員を対象とした随時検査を実施することとした。 社会的検査のほか、保健所による従来型検査により、職員 1 人、利用者 4 人の陽性判明。 12 月 4 日に随時検査を実施し、職員 2 人、利用者 1 5 人の陽性判明。 12 月 7 日に随時検査を実施し、職員 1 人、利用者 5 人の陽性判明。 12 月 8 ~ 14 日において、これまでの検査において陰性であった職員 2 人、利用者 7 人について、熱発等のため再検査(従来型検査)を実施し、陽性判明。 12 月 14 日に未受検の職員への随時検査を実施し、職員 1 人の陽性判明。 陽性者合計 職員 8 人・利用者 3 1 人 計 3 9 人 従来型検査を含む。
認知症高齢者グループホーム	職員 1 2 人 職員 1 人陽性判明 ----- 職員 1 人 利用者 1 8 人 計 1 9 人 全員陰性	12 月 11 日	<ul style="list-style-type: none"> 定期検査を実施し、職員 1 人の陽性判明。 濃厚接触者については調査中。 12 月 14 日、未受検の職員、利用者に対する随時検査を実施し、陽性者の発生は認められなかった。
都市型軽費老人ホーム	職員 8 人 利用者 1 7 人 計 2 5 人 職員 2 人 利用者 3 人 計 5 人陽性判明 医療機関による P C R 検査により、利用者 1 人陽性判明 ----- -	12 月 14 日	<ul style="list-style-type: none"> 12 月 9 日に利用者の入院前の医療機関による P C R 検査において、利用者 1 人の陽性判明。 保健所による調査の結果、濃厚接触者の特定が難しいことから、社会的検査(随時検査)の枠組みを活用して、職員及び利用者全員を対象とした随時検査を実施することとした。 12 月 14 日に随時検査を実施し、職員 2 人・利用者 3 人の陽性判明。 陽性者合計 職員 2 人・利用者 4 人 計 6 人 医療機関による P C R 検査を含む。
合計 10 か所、53 人(職員 28 人、利用者 25 人)			

	陽性発生後の定期検査の状況		
	1回目	2回目	3回目
未実施	6か所	-	-
案内済	4か所	-	-
日程調整中	2か所	-	-
実施済	-	-	-
合計	6か所		

<分析等>

- 社会的検査（定期検査）の結果、無症状の陽性者が発生した施設内において、濃厚接触者の発生したケースはない。社会的検査を受検した施設においては、施設内における、適切な感染予防が徹底されているものと考えられる。
- この間の社会的検査（定期検査）で把握された陽性者は、すべて無症状であり、現時点では無症状のまま健康観察期間を終了している。
- 従来型検査等により陽性者を確認し、保健所の疫学調査において濃厚接触者の特定が困難であるケースにおいては、その後の社会的検査（随時検査）で多数の陽性者が発生する事例が認められた。
- 保健所による従来型検査により陽性者を確認し、濃厚接触者の範囲が広範に及ぶ恐れがある場合は、社会的検査（随時検査）の枠組みを活用して、職員及び利用者全員を対象とした社会的検査（随時検査）を実施することで、陽性者の早期発見及びクラスター防止対策を迅速に行うことができた。
- 特に重症化リスクの高い、高齢者や基礎疾患を有する方の陽性者を無症状の段階で早期に発見し、入院措置することで、有症状になった場合でも迅速な対応が可能になる。